

三陸水産研究センターの研究体制について

27.9.1 現在

『岩手の復興と再生に』オール岩大パワーを
岩手の“大船”と“ひと”と共に

世界各地の研究拠点

海洋研究

バイオテクノロジー

再生可能エネルギー

連携

三陸水産研究センターに常駐する
教員・研究スタッフ

岩手大学



センター長 教授 田中 教幸
特任教授 阿部 周一
准教授 石村 学志
助教 塚越 英晴



特任研究員 佐藤 琢哉
特任研究員 照井 沙友里
特任研究員 宮原 大輔
技術補佐員 菅原 信
技術補佐員 菅原 澄

東京海洋大学



博士研究員 大岡 嗣欧
技術補佐員 奥村 海平
大学院(修士2年) 鈴木 千寛
大学院(修士1年) 杉浦 康太



三陸水産研究センター

岩手大学・東京海洋大学・北里大学の
3大学が連携

- 従来の水産業に科学的知見を加え、水産業の高度化や三陸水産品のブランド化をめざす
- 水産関連技術者の高度化教育や人材育成を行う

三陸地域の活性化につなげ、復興に寄与

連携

コーディネート
活動

連携

人材輩出
技術開発・普及



特任研究員(URA)産学官連携専門職員
澤井 雅幸



田村 直司

地域の研究拠点

岩手県水産技術センター

東京大学 大気海洋研究所

いわて海洋研究コンソーシアム

(独)水産総合研究センター

東北地区水産研究所

連携



三陸地域の
水産業関係者
(漁協、加工会社など)

水産業の高度化・三陸ブランド化に向けた取り組みの例

既存漁業の発展(サケ、ホヤなど)

- 環境調査による水産物の質の向上
- 遺伝子や生理学研究による、増養殖の効率化、資源の増大
- 漁業者が可能な種苗生産技術の開発

加工・保存技術向上のための研究

- 省力化・高付加価値化を可能とする機器・システムの開発
- 新たな食品加工技術の開発
- 機能性の評価と探索

新規漁業の展開(ワカメ、アカモクなどの海藻類)

- 機能性を持つ新たな海藻など食料資源の探求・創出
- 低コスト陸上養殖の普及に向けた研究(→再生可能エネルギーの活用)

効果的なマーケット戦略の研究・策定

- 沿岸地域の水産業経済の研究
- 「SANRIKUブランド」を目指したデザイン開発の支援
- トレーサビリティ等を活用した販路拡大のためのビジネスモデル提案

安全・安心な水産物の
提供・消費拡大

